



# 指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

## 『Yellow Yellow Happy』

校長 おお ころ うち のり かず  
大河内 範一



自分が幼稚園の頃の話だが、登園中に「てんとう虫」を見つけ、捕まえたら黄色い汁が手に付いてしまった。何故だかそれをなめてしまい、あまりの苦さに泣きながら家に帰ったという遠い昔の記憶がある。時を経て最近、てんとう虫は「幸運を運んでくれる虫」だということを知り合いから聞いた。この事実はあまり知らなかったもので、ちょっと調べてみたところ、

日本だけでなく世界中にてんとう虫にまつわる話があることがわかった。

日本では、てんとう虫は「天道虫」と書き、その名前の由来は、お天道様（おてんとさま）から来ているそうで、太陽に向かって飛んでいく天の使いと考えられていたとのこと。そんな高貴で素晴らしい虫だったのかと思うと、あの黄色く苦かった汁も、今なら甘く感じられるかもしれない。

また、フランスでは「神様の虫」と呼ばれ、てんとう虫が体にとまって飛んでいくと、どんな深い心配事も一緒に飛んでいくと言われている。さらに、ノルウェーでは、てんとう虫と一緒に見つけた男女の間には愛が芽生えるという、ロマンチックな言い伝えもあるのだ。この他にも様々な逸話があり、てんとう虫は世界各国で絶賛されているのである。なんだかちょっぴりうらやましい。

日本に生息しているてんとう虫のうち、数が多いのは、赤い体に黒の点がある「ナナホシテントウ」と、黒い体に赤の点がある「ナミテントウ」だそうだが、体が黄色い「キイロテントウ」というのもいる。このキイロテントウを見かけると、大きな幸運が訪れる前触れと言われている。とりわけ、この虫が家の中に入ってきたり、手にとまったりしたときには、その幸運がすぐそばまで来ている証拠だそう。これからは、黄色い昆虫から目が離せない。

さて、新学期が始まって1か月。生活サイクルが変化して疲れを感じたり、自分の時間が取れなかったりして悩むことがあるだろう。また、テレビや新聞などで暗いニュースを見て、気が滅入ってしまうこともあるかもしれない。そんな時は、自分には必ず幸運が舞い込んでくると信じていよう。幸運を見つけようと努力したり、幸運を感じようとする時間を増やしたりしていけば、人生はきっと楽しく、よい方向に進んでいくと思っている。

私も次回、校内に飾る掲示物を作る時は、「蝶々」から「てんとう虫」にしてみようかな。黄色いてんとう虫をたくさん飾るといいかもね。